



## コンセプト

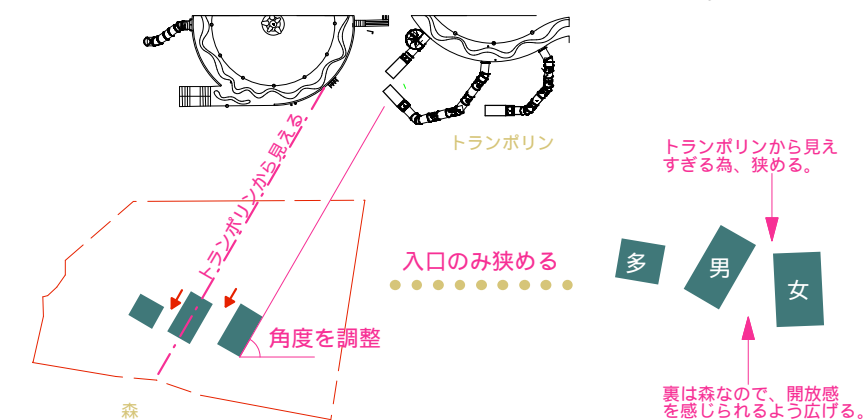
敷地は、親子に人気の大きなトランポリンのそば、周囲を森に囲まれた場所である。  
近くにトイレがなく、休める木陰やベンチもない。

また小さい子供がトランポリンで遊ぶときは親が常にそばで見守る必要があるが、成長するにつれ子供だけで遊べるようになると子供と離れて見守ることができるようになる。私はこのことから、子供の見守り方の違いに適応した休憩所を提案する。

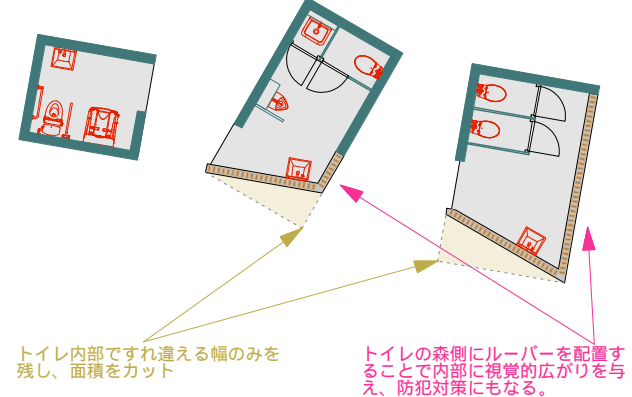
子供の年齢によって子供の見守り方も変化することから子供と親の距離が近い『開けた休憩所』と親がゆったり子供を見守れる『奥まった休憩所』を作り、トランポリンで遊べない子供達も遊びまわられる遊具を併設した休憩所兼トイレを提案する。

## ダイアグラム

1 トランポリンから入り口がわかりやすいようトイレの角度を調整し、プライバシーを保ちつつ開放性を与えるため入り口のみを狭める。



2 トイレの面積を必要最低限にし、トランポリンと反対側にルーバーを設けトイレ内に開放性を持たせる。



3 死角をなるべく作らないよう、空間に奥まりを与えるため上下・斜めに仕切り、開けた空間と少し奥まった空間を作り、ベンチを配置する。

